

2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	928	6.5	113	△21.3	110	△24.6	70	△22.5
2022年9月期第3四半期	871	△4.6	144	46.5	145	35.6	91	45.5

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 70百万円(△22.5%) 2022年9月期第3四半期 91百万円(45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	68.55	68.47
2022年9月期第3四半期	86.42	86.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,978	1,818	91.9
2022年9月期	2,058	1,813	88.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 1,818百万円 2022年9月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2023年9月期	-	0.00	-	-	-
2023年9月期(予想)	-	-	-	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,250	5.9	120	△12.7	120	△14.3	32	△63.7
								30.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	1,073,500株	2022年9月期	1,073,500株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	38,306株	2022年9月期	11,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	1,034,968株	2022年9月期3Q	1,059,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年10月1日~2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行決定等により、各種規制が緩和され経済活動が好転した一方、資源価格やエネルギー価格の高騰に伴う企業収益における懸念材料は解消されておらず、依然として先行きは見通しにくい状況にあります。

このような状況のもと、当社は2022年11月10日に公表しました3か年中期経営計画(2023年9月期~2025年9月期)に基づき、

- ①事業継続力の強化
- ②自社製品開発の推進
- ③品質性能の向上

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

受託蒸留事業では、主要顧客との取引の縮小に加え、半導体メーカーにおいて在庫調整や設備投資計画を見直す動きがみられ、電子材料向け案件の引き合いが減少したことにより、減速感が生じております。また、プラント事業では、自社オリジナル装置が完成し、展示会への出展などのPR活動を通じて販路拡大に向けて取り組んでおります。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、928,202千円(前年同期比6.5%増)となりました。利益面におきましては、エネルギーコスト高や材料費の高騰による影響を受けたことにより、営業利益は113,416千円(前年同期比21.3%減)、経常利益は110,062千円(前年同期比24.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は70,947千円(前年同期比22.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、概ね堅調に推移しておりますが、主要な顧客との取引の縮小及び電子材料向け案件の引き合いの一時的な減少により、受託蒸留事業の売上高は837,393千円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は329,570千円(前年同期比5.1%減)となりました。

(プラント事業)

プラント事業におきましては、蒸留装置の工事・メンテナンスの実施及びろ過装置の安定的な受注により、プラント事業の売上高は169,358千円(前年同期比125.5%増)、セグメント損失は17,872千円(前第3四半期連結累計期間はセグメント損失37,971千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ80,469千円減少し、1,978,095千円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ59,618千円減少し、1,013,206千円となりました。主な要因は、電子記録債権が6,997千円増加したものの、現金及び預金が67,748千円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が11,961千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ20,850千円減少し、964,889千円となりました。主な要因は、設備投資の実施により機械装置及び運搬具(純額)が20,794千円増加したものの、繰延税金資産が18,192千円、顧客関連資産が6,107千円、のれんが5,799千円減少したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ84,949千円減少し、159,829千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ82,388千円減少し、147,807千円となりました。主な要因は、法人税納付により未払法人税等が37,655千円、未払費用が31,046千円、賞与引当金が17,196千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,561千円減少し、12,021千円となりました。主な要因は、繰延税金負債が2,561千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,480千円増加し、1,818,266千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が43,139千円増加した一方、自己株式立会外買付取引及び自己株式処分の実施により、自己株式が38,659千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日に公表しました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年8月10日)公表の「特別損失(固定資産除却損)の計上及び2023年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801,362	733,613
受取手形、売掛金及び契約資産	119,310	107,349
電子記録債権	—	6,997
商品及び製品	54,218	57,794
仕掛品	35,365	37,011
原材料及び貯蔵品	30,060	33,160
前払費用	21,763	27,257
その他	10,743	10,021
流動資産合計	1,072,825	1,013,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	415,410	414,297
機械装置及び運搬具（純額）	188,995	209,789
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	43,545	38,151
その他（純額）	51,523	48,763
有形固定資産合計	856,546	868,072
無形固定資産		
のれん	25,774	19,975
顧客関連資産	43,428	37,321
ソフトウェア	3,759	3,664
その他	429	429
無形固定資産合計	73,391	61,390
投資その他の資産		
長期前払費用	4,901	2,718
繰延税金資産	40,245	22,053
その他	10,654	10,654
投資その他の資産合計	55,802	35,426
固定資産合計	985,739	964,889
資産合計	2,058,564	1,978,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,686	30,119
未払費用	66,064	35,018
未払金	33,987	29,432
未払法人税等	37,813	157
未払消費税等	22,604	12,743
契約負債	6,996	18,220
賞与引当金	23,568	6,372
預り金	21,130	15,356
その他	345	387
流動負債合計	230,195	147,807
固定負債		
繰延税金負債	14,583	12,021
固定負債合計	14,583	12,021
負債合計	244,778	159,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,039	313,039
利益剰余金	1,172,362	1,215,502
自己株式	△18,113	△56,773
株主資本合計	1,813,786	1,818,266
純資産合計	1,813,786	1,818,266
負債純資産合計	2,058,564	1,978,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	871,195	928,202
売上原価	442,291	500,175
売上総利益	428,904	428,027
販売費及び一般管理費	284,839	314,610
営業利益	144,064	113,416
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	23	14
確定拠出年金返還金	262	—
助成金収入	1,500	—
還付加算金	—	32
その他	64	7
営業外収益合計	1,851	54
営業外費用		
固定資産除却損	—	3,172
その他	4	235
営業外費用合計	4	3,408
経常利益	145,911	110,062
税金等調整前四半期純利益	145,911	110,062
法人税、住民税及び事業税	36,446	23,484
法人税等調整額	17,926	15,631
法人税等合計	54,372	39,115
四半期純利益	91,538	70,947
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,538	70,947

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	91,538	70,947
四半期包括利益	91,538	70,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,538	70,947
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、2022年11月14日付で、自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) により、株式数40,000株、取得価額59,440千円を取得いたしました。また、2023年1月19日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、これに基づいて2023年2月16日に自己株式13,200株の処分を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末日現在の自己株式は、38,306株、56,773千円となっております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「契約負債」は、第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含まれる「契約負債」は6,996千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	672,282	—	672,282	—	672,282
研究開発支援	164,622	—	164,622	—	164,622
プラントサービス	—	34,290	34,290	—	34,290
顧客との契約から生じる収益	836,904	34,290	871,195	—	871,195
外部顧客への売上高	836,904	34,290	871,195	—	871,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	40,800	40,800	△40,800	—
計	836,904	75,090	911,995	△40,800	871,195
セグメント利益又は損失 (△)	347,257	△37,971	309,286	△165,221	144,064

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額の△165,221千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,099千円、セグメント間取引消去5,877千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	631,355	—	631,355	—	631,355
研究開発支援	206,037	—	206,037	—	206,037
プラントサービス	—	90,809	90,809	—	90,809
顧客との契約から生じる収益	837,393	90,809	928,202	—	928,202
外部顧客への売上高	837,393	90,809	928,202	—	928,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	78,549	78,549	△78,549	—
計	837,393	169,358	1,006,752	△78,549	928,202
セグメント利益又は損失(△)	329,570	△17,872	311,697	△198,281	113,416

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△198,281千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△201,903千円、セグメント間取引消去3,622千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、2024年9月期を起点とする新たな3か年中期経営計画を検討する過程において、事業環境の変化及び限られた敷地の有効活用等を踏まえ、より需要の見込めるバッチ式蒸留装置への入れ替えを進めるにあたり、既存の連続蒸留式装置の除却(2023年9月完了予定)を行うことを決議いたしました。

この結果、当第4四半期連結会計期間において、特別損失(固定資産除却損)として67百万円(概算)の計上を見込んでおります。

なお、この特別損失には、当該機械装置の除却損のほか現時点で見込まれる解体費用等を含んでおります。